



TLS ピア サブジェクト

TLS ピア サブジェクトのウィンドウにより、トランスポート リスナーに関連付けることのできるピア サブジェクトを作成および変更できます。

TLS ピア サブジェクトの検索

ネットワークに複数の TLS ピア サブジェクトが存在する場合があるため、Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件で特定の TLS ピア サブジェクトを検索することができます。特定の TLS ピア サブジェクトを検索するには、次の手順を実行します。



(注)

ブラウザセッションでの作業中、クライアント マシンの cookie により、検索/一覧表示の設定が保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニューに戻るか、ブラウザを閉じてから新しいブラウザ ウィンドウを開くと、検索の設定を変更するまで、Cisco Unified Presence の検索の設定がシステムで維持されます。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified Presence] > [セキュリティ] > [TLS ピアサブジェクト] の順に選択します。

[TLS ピアサブジェクトの検索と一覧表示 (Find and List TLS Peer Subjects)] ウィンドウが表示されます。アクティブ (優先) クエリーのレコードもウィンドウに表示される場合があります。

ステップ 2 データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 3](#)に進みます。

レコードをフィルタリングするかまたは検索します。

- ドロップダウン リスト ボックスから検索パターンを選択します。
- 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。



(注)

検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。検索条件を追加すると、指定したすべての検索条件に一致するレコードが検索されます。検索条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した検索条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして追加したすべての検索条件を削除します。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リストボックスで異なる値を選択すると、各ウィンドウに表示する項目の数を変更できます。



(注) 対象のレコードの隣にあるチェックボックスをオンにしてから [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックしてから [選択項目の削除] をクリックすると、この選択で設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されるレコードのリストから、表示対象となるレコードのリンクをクリックします。



(注) ソート順序を逆にするには、必要に応じて、リストのヘッダーにある上向きまたは下向きの矢印をクリックします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.17-4 の「[関連項目](#)」を参照してください。

TLS ピア サブジェクトの設定

この項では、Cisco Unified Presence データベースで TLS ピア サブジェクトを追加または更新する方法について説明します。

手順

ステップ 1 次のいずれかのタスクを実行します。

- TLS ピア サブジェクトを追加するには、[Cisco Unified Presence] > [セキュリティ] > [TLS ピア サブジェクト] の順に選択し、[新規追加] をクリックします。
- TLS ピア サブジェクトを更新するには、P.17-1 の「TLS ピア サブジェクトの検索」の手順に従って TLS ピア サブジェクトを検索します。

[TLS ピアサブジェクトの設定 (TLS Peer Subject Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 表 17-1 の説明に従って適切な設定を入力します。



(注) TLS ピア サブジェクトに対する変更を有効にするには、SIP プロキシ サーバを再起動する必要があります。プロキシ サーバを再起動するには、[Cisco Unified Presence] > [プロキシ サーバ] > [設定] の順にクリックします。詳細については、第 11 章「プロキシ サーバの設定」を参照してください。

ステップ 3 データを保存するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [保存] アイコンをクリックします（または、ウィンドウの下部に表示される [保存] ボタンをクリックします）。

追加情報

P.17-4 の「関連項目」を参照してください。

TLS ピア サブジェクトの設定値

表 17-1 で、TLS ピア サブジェクトの設定値について説明します。関連する手順については、P.17-4 の「関連項目」を参照してください。

表 17-1 TLS ピア サブジェクトの設定値

フィールド	説明
ピアサブジェクト名	このパラメータは、関連付けられる TLS ピア サブジェクトの一意の名前を指定します。
説明	このパラメータは、TLS ピア サブジェクトの説明を指定します。

TLS ピア サブジェクトの削除

この項では、TLS ピア サブジェクトの削除方法を説明します。

手順

ステップ 1 P.17-1 の「[TLS ピア サブジェクトの検索](#)」の手順に従い TLS ピア サブジェクトを検索します。

ステップ 2 一致するレコードのリストから、削除する TLS ピア サブジェクトを選択します。



(注) TLS ピア サブジェクトに対する変更を有効にするには、SIP プロキシ サーバを再起動する必要があります。プロキシ サーバを再起動するには、[Cisco Unified Presence] > [プロキシ サーバ] > [設定] の順にクリックします。詳細については、[第 11 章「プロキシ サーバの設定」](#)を参照してください。

ステップ 3 TLS ピア サブジェクトを削除するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [選択項目の削除] アイコンをクリックします（または、ウィンドウの下部に表示される [選択項目の削除] ボタンをクリックします）。

TLS ピア サブジェクトが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。TLS ピア サブジェクトが使用中の場合は、メッセージが表示されます。

追加情報

[P.17-4 の「関連項目」](#)を参照してください。

関連項目

- [TLS ピア サブジェクトの検索 \(P.17-1\)](#)
- [TLS ピア サブジェクトの設定 \(P.17-3\)](#)
- [TLS ピア サブジェクトの削除 \(P.17-4\)](#)